

平成28年度
岡山県学力・学習状況調査

調査問題を活用した授業改善のポイント



岡山県教育庁義務教育課

社 会



授業改善のポイント

- ①基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- ②社会科における言語活動の充実
 - (1)複数の資料から情報を取り出して書く。
 - (2)必要な情報を判断し、比較、関連付けたことを総合して書く。
 - (3)自分の判断した結果を基に、他者に対して表現する。
- ③小中のつながりを意識して



客観的データに基づいた実態把握から課題の焦点化

H28 岡山県学力・学習状況調査の設問の概要				過去の出題と正答率	
設問番号		設問の概要		出題	正答率
1(1)①	同一	小3・4	建物の地図記号を理解している。	H25.1(1)①	69.1%
1(1)②	同一	小3・4	土地利用の地図記号を理解している。	H25.1(1)②	64.5%
1(3)	類似	小3・4	方位や地図記号、距離を表す目盛の理解をもとに、地図を読み取ることができる	H25.1(3)	64.2%
2(1)	類似	小3・4	県の地形について理解している。	H27.1(2)②	69.0%
3(1)	類似	小5	我が国の位置と領土についての理解をもとに、地図を読み取ることができる。	H27.2(1)	58.3%
3(2)	類似	小3・4	都道府県の名称と位置を理解している。	H26.3(2)	41.9%
7(1)	類似	小6	税金について理解している。	H25.6(2)①	71.6%

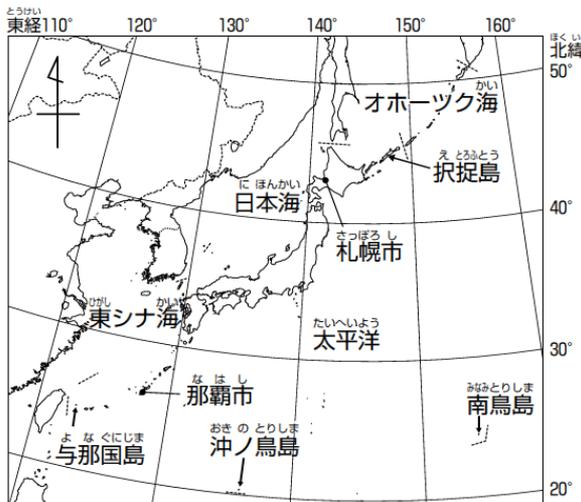
地図上で名称を答えることに課題がある

3

地図などの基礎的資料を効果的に活用し、基礎的
基本的な知識技能の定着を図る。

地図や地球儀、資
料などを活用して位
置関係を調べる

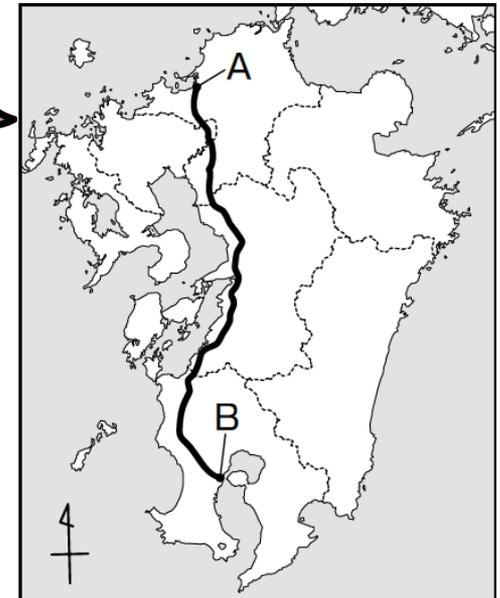
地図上で県名と
位置関係の把握
する



地図を使う機
会を増やすこ
とにより確か
な定着を



観察
調査



主な大陸と海洋、日本と文化や経済でつながりの強い国、都道府
県名など、第6学年終了までに再確認を！



複数資料から情報を取り出し、比較・関連付け、総合しながら説明することが課題

	設問番号	設問の概要		正答率
H28 岡山県 調査の正答率	5(3)	小6	大仏造営について、資料を読み取って考え、表現することができる。	%
	7(3)	小6	国民生活に反映されている、地方公共団体の政治の働きについて資料を読み取って考え、表現することができる。	%
過去の出題と 正答率	H27.3(2)	小5	出雲地方に築地松が多く見られる理由を、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。	53.7%
	H27.4(3)	小5	豊田市の工業生産の様子について、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。	34.7%
	H27.5(4)	小6	豊臣秀吉による検地の目的について、複数の資料を基に考察し、その内容を表現することができる。	32.8%
	H26.1(3)	小3・4・5	自動車工場が集中する地域について、根拠を複数の資料を基に考察し、その内容を説明することができる。	33.0%
	H26.2(2) ①	小3・4	利根川で取水制限が行われた時期を、ダム貯水量の変化と降水量の平年との比較を基に判断し、その内容を説明することができる。	32.2%

課題解決のために資料を用いた言語活動の充実を

資料から情報を取り出す

情報の比較・関連付け・総合

児童生徒が、自分の考えをもつために、思考・表現の手がかりになるものを示しましょう。

グループ学習・ペア学習を行う場合は、児童生徒に付けさせたい力を意図した学習活動を取り入れる。



再構成
する学習



☆考えたことを自分の言葉でまとめ、伝え合うことにより、お互いの考えを深めていく学習の充実

資料読み取りの基本を身に付けさせる

丁寧な資料の読み方の指導も必要

資料等の量的・質的充実

- グラフ(資料)のタイトルは何か。
- 出典は何か。
- 縦軸・横軸は何を表しているか。
- 単位は何か。
- 全体的にどのように変化しているか。
- 変化はどこが大きく、どこが小さいか。
- グラフ(資料)からこれからの変化を予想できるか。

資料を提示するだけでなく、考える視点の提示が大切

考えたことを自分の言葉でまとめる

キーワードの活用

冒頭部分を指定

話形例

参考 授業5(ファイブ)②



まずは、資料から必要な情報を取り出す力を身につける

問題

7

(3)

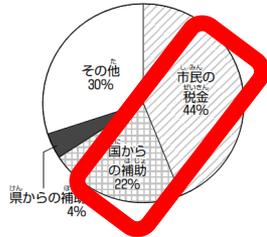
はるなさんは、これからのA市の支出について、次のように予想を發表しました。
 【資料イ】と【資料ウ】を使って、はるなさんの發表の にあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。



はるな

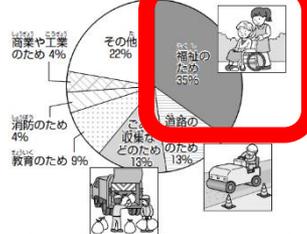
今後、A市の「福祉のため」の支出は増えていくと息います。
 理由は、資料から、 と考えたためです。

【資料ア】 A市の収入(2015年)

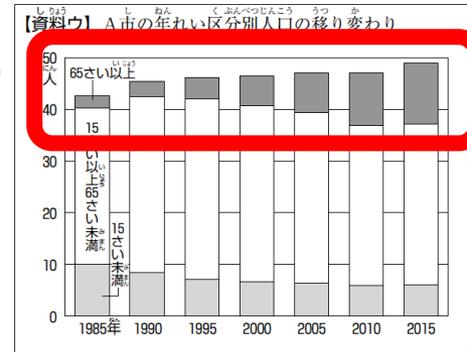


A市の収入の多くは、市民の税金や国からの補助である。

【資料イ】 A市の支出(2015年)



A市の支出は、3分の1以上福祉のために使われている。



高齢者が年々増えている。

15歳未満は減っている。

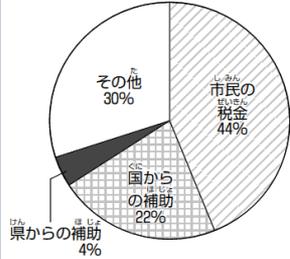
市の人口は増えている。

・資料から必要な情報を読み取る

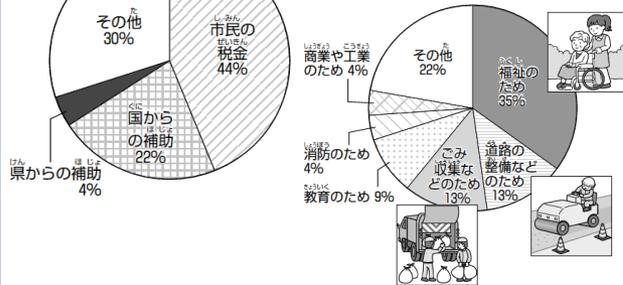
小学校学習指導要領解説
 第3学年及び第4学年
 【1目標(3)】 P20より

次に、比較・関連付けて考える視点を与える

【資料ア】 A市の収入(2015年)



【資料イ】 A市の支出(2015年)

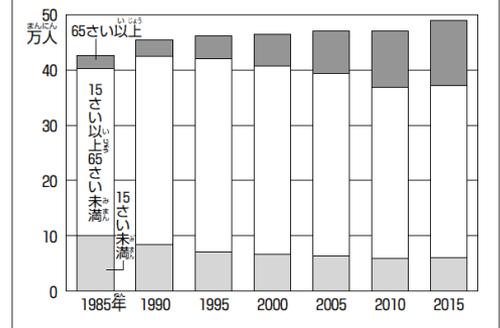


A市の収入の多くは、市民の税金と県や国からの補助で、支出の3分の1は、福祉のために使われている。

もし、現在の人口推移が続くと、A市の支出はどの様に変化していきますか？

＜正答例＞65歳以上の高れい者が今後も増えると考えられるので、医りょう費などが増えるのではないかと

【資料ウ】 A市の年れい区分別人口の移り変わり



市全体の人口は徐々に増えている。その中でも、高れい者の人口は増えているが、15歳未満は減っている。

- 複数の資料を関連付けて読み取る。
- 資料を整理したり再構成したりする。

小学校学習指導要領解説

第5学年【1目標(3)】P50及び
第6学年【1目標(3)】P72、73
より

歴史的分野でも、資料を関連付ける視点を！

問題 5 (3)

- (3) よしおさんは、【カードB】の聖武天皇が行った政治や当時の様子について、次のように発表しました。【カードB】や年表をもとに、よしおさんの発表の にあてはまる内容を、「～ので、…」という形で書きなさい。

【よしおさんの発表】

聖武天皇が大仏や国分寺をつくった理由は、 と考えていたからです。

【カードB】 聖武天皇

- 天皇を中心とする政治のしくみを確立した。
- 東大寺の大仏をつくることや、全国に国分寺をつくることを命じた。



ねん年	できごと
607	遣隋使が送られる
645	大化の改新が始まる
710	都が <input type="text"/> に移る
724	聖武天皇が即位する
737	都で伝せん病が流行する このころ各地で災害が起こる
740	貴族の反乱が起こる
741	国分寺をつくる命令が出される
743	大仏をつくる命令が出される
794	都が平安京に移る
894	遣唐使が停止される
1016	藤原道長が政治の実権をにぎる

なぜ、聖武天皇はこんなに大きな大仏を作ったのでしょうか？



参考 授業5(ファイブ)①

＜正答例＞伝染病が流行したり、災害や戦乱が起こったりしていたので、仏教の力で国を治めたい(と考えていたからです。)

児童の考えの例

自分のことばでまとめる

話形例

比較

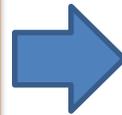
- ~と~は同じである
- 違う点は~である
- ~と比べて
- ~と同じで



聖徳太子と聖武天皇は仏教を重視した点と同じである。

関連付け

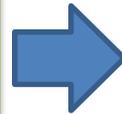
- 「~であるのは~だからである
- ~と~は違うことから~と考えられる
- ~と~は~という点で共通している。



聖武天皇のころの政治と藤原氏のころの政治は天皇中心か貴族中心化という点で違いがある。

総合

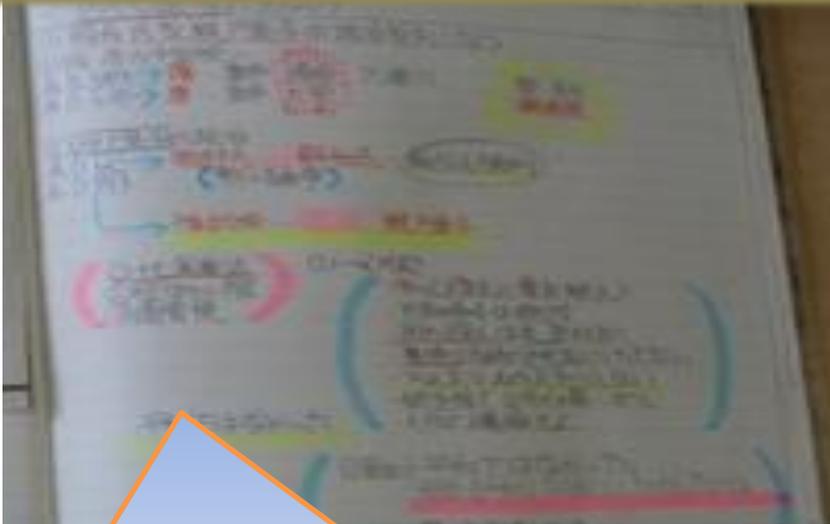
- したがって~と考える
- ~にとって~は大切なことである
- ~と~は深い関わりがある
- ~と~をまとめると



聖武天皇の仏教に関する政策と当時の出来事は深い関わりがある。

言語活動を促すノート、環境、学習形態の工夫

学習した言葉だけでなく、自分の考えも書いているノート



学年当初は特に丁寧な指導が必要

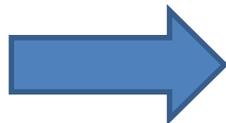
学習した言葉がよく見える掲示



授業でを使用した掲示物を利用

学習形態の工夫を！

個人で



ペアで

グループで

参考 授業5(ファイブ)②



全体で

小中の学習がつながるように意識を 観察力や資料活用力について

第3学年及
び第4学年

地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用できるようにする。

第5学年

社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用できるようにする。

第6学年

社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用することができるようにする。

中学校

地理：…地図を有効に活用して事象を説明したり…
歴史：…学習した内容を活用してその時代を大観し…

小中の学習がつながるように意識を 社会的な思考や判断力について

第3学年及
び第4学年

地域社会の社会的事象の特色や相互の関連を考える力を育てる。

第5学年

社会的事象の意味について考える力を育てる。

第6学年

社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てる。

中学校

地理：地図の読図や作図などの学習を通して思考力や表現力等の育成を図る...

歴史：...時代の転換の様子をとらえる学習などを通じて、歴史的事象について考察・判断し...自分の言葉で表現する...

公民：...社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えを...論述したり、議論など...考えを深め...

地理的な学習で考えると・・・

小学校・中学校学習指導要領解説 社会編より

地図・地球儀の 活用の重視

3・4年

地図や各種の具体的資料を効果的に活用し・・・

5年

地図や地球儀、統計などの各種の基本的資料を効果的に活用し・・・

6年

地図や地球儀、年表などの各種の基本的資料を効果的に活用し・・・

中学校

地図の読図や作図などの学習を通して・・・

都道府県の学習

3・4年

47都道府県の名称と位置

第4学年までに習得した「都道府県名と位置」が後の学習につながる

中学校

日本の様々な地域（日本の地域構成）都道府県の名称と位置の他都道府県庁所在地